

4/19(土)からの全編生解説プラネタリウム新番組は 「浮世絵ぷらねたりうむ - 江戸のお空に光る星 -」

多摩六都科学館（東京都西東京市、館長：高柳雄一。以下、当館）では、2025年4月19日(土)から全編生解説プラネタリウムの新番組、「浮世絵ぷらねたりうむ - 江戸のお空に光る星 -」を投影します。
大河ドラマ「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」でも話題の江戸の絵画と天文が交差する45分間。当日の星空解説とともに楽しみいただきます。

「江戸時代の絵画 × 天文」を楽しむ

当館のプラネタリウムドーム「サイエンスエッグ」は世界最大級。1億4000万個を超える星々を映す中、大型スクリーンならではの没入感とともに浮世絵を眺めましょう。

全編生解説プラネタリウムでは前半に当日の星空を紹介し、後半にテーマ解説を行います。今回の「江戸時代の絵画 × 天文」を深く知るポイントとは？

① 太陽・薄明・虹・月・星などが絵画にどのように描かれたかを知る

太陽や月、星々などの天体がどのように絵画で表現されたかを知り、その美しさや象徴性への理解を深めます。

② 天文知識を踏まえた視点からの絵画の楽しみ方を知る

プラネタリウム解説員が、絵画を新たな視点から楽しむ方法を提案します。

③ 当時はどのような科学的知識が知られていたのか、絵画が何を伝えたのかを知る

江戸の人々に科学的知識を伝えたのも絵画でした。当時の絵画は何を伝えていたのか、作品を見ながら振り返ります。

番組概要

【名称】「浮世絵ぷらねたりうむ - 江戸のお空に光る星 -」

【日時】2025年4月19日(土)～6月29日(日)

※休館日・投影時間は当館ホームページでご確認ください

【会場】多摩六都科学館 サイエンスエッグ

【対象】どなたでも（小学2年生以下は保護者と観覧）

【定員】各回234人

【料金】観覧付き入館券（大人1,040円、4歳～高校生420円）

【観覧方法】当日インフォメーションにて先着順で観覧券を販売



プラネタリウム担当者より：

誰もが一度は見たことがある、でもあまり深くは知らない絵画『浮世絵』。

今回は、江戸の暮らしや浮世絵の豆知識も交えつつ、プラネタリウムならではの視点で浮世絵を眺めます。

超大型スクリーンで眺める大迫力の浮世絵はもちろんのこと、司馬江漢の銅版画や葛飾北斎の肉筆画も

お見逃しなく！

お問い合わせ先

多摩六都科学館 広報担当（蓮田）まで

TEL 042-469-6100（代表） 042-469-6984（広報直通）

Mail info2@tamarokuto.or.jp

URL <https://www.tamarokuto.or.jp/>



多摩六都科学館 WEB